

東京有明医療大学

令和7年度 第1回 一般選抜問題 (2月3日)

国語

受験番号							氏名	
------	--	--	--	--	--	--	----	--

注 意 事 項

- (1) 開始の合図があるまでは、この問題用紙を開いてはいけません。
- (2) 解答はすべて別紙の国語用解答用紙（マークシート）に記入してください。
- (3) この科目で使用する解答欄は、国語用解答用紙の 1 から 40 までです。
解答欄 41 から 50 には記入しないでください。
- (4) 解答の記入には黒鉛筆（HB 以上、シャープペンシル使用可）を使用してください。
- (5) この問題用紙の上記の欄に受験番号、氏名を記入してください。
- (6) 解答用紙（マークシート）の所定の欄に氏名を記入するとともに、シート左上にある受験番号マーク欄にも右の記入例に従って、受験番号を記入した上で、対応する数字を塗りつぶして、番号を表示してください。

（記入例）受験番号 321578 の場合

受験番号									
万	千	百	十	一					
3	2	1	5	7	8				
0	0	0	0	0	0				
1	1	●	1	1	1				
2	●	2	2	2	2				
●	3	3	3	3	3				
4	4	4	4	4	4				
5	5	5	●	5	5				
6	6	6	6	6	6				
7	7	7	7	●	7				
8	8	8	8	8	●				
9	9	9	9	9	9				

- (7) 訂正する場合は必ず消しゴムで完全に消し、「消しくず」をきれいに取り除いてください。
- (8) 解答用紙（マークシート）を折り曲げたり汚したりしてはいけません。
- (9) 終了の合図があったら、ただちに鉛筆（またはシャープペンシル）を置き、係員の指示に従ってください。
- (10) この問題用紙は試験終了後回収します。

次の文章を読み、後の問いに答えよ。

著作権の関係上、非公表

著作権の関係上、非公表

*作問の都合上、本文を改変したところがある。

著作権の関係上、非公表

(青山拓央『哲学の問い』)

問一 波線部 i・ii について、i はカタカナの部分と同じ漢字を使うもの、ii は読み仮名として正しいものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- i 「オンショウ」
- ① オンダンな気候
- ② オンケイを受ける。
- ③ オンビンに済ませる。
- ④ ボウオン装置をつける。
- ii 「貶す」 ① くさす ② くだす ③ けなす ④ おとす

問二 二重傍線部(a)～(d)の語の品詞を、次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- (a) ① 副詞 ② 連体詞 ③ 形容詞 ④ 助詞
- (b) ① 副詞 ② 連体詞 ③ 形容詞 ④ 助詞
- (c) ① 副詞 ② 連体詞 ③ 形容詞 ④ 助詞
- (d) ① 副詞 ② 連体詞 ③ 形容詞 ④ 助詞

問三 本文中の空欄 I Ⅲ にあてはまる語として最も適当なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- | | | | | |
|-----|------|--------|--------|---------|
| I | ① さて | ② ところが | ③ なぜなら | ④ したがって |
| II | ① さて | ② ところが | ③ なぜなら | ④ したがって |
| III | ① さて | ② ところが | ③ なぜなら | ④ したがって |

問四 本文中の空欄ア　　ウ　にあてはまる語として最も適当なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

ア	① 類比的	② 物理的	③ 論理的	④ 倫理的
イ	① 類比的	② 物理的	③ 論理的	④ 倫理的
ウ	① 類比的	② 物理的	③ 論理的	④ 倫理的

問五 傍線部A「恋愛というものにもともと潜伏している一種の野蛮さ」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ルツキズムには批判的であっても、恋愛において顔の魅力度の高さを重視してこっそり観察すること。
- ② 公的な人間関係の中で、他者が一方的に、自分の私的な領域に相手を引っ張り込もうと考えていること。
- ③ 恋愛に際して、相手の顔を見て恋愛対象になるかどうかを判断するのは当然だと考える人が多いこと。
- ④ 公的な場では、自分が容姿至上主義だと明言せずに、こっそり自分の私的な関心を相手に向けること。

問六 傍線部B「この問題」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 自分の顔を見せることで相手にガッカリされるという問題。
- ② 恋愛の一種の野蛮さに対して「ドアを開いておく」という問題。
- ③ 自分の顔をどのタイミングでどの相手に見せるかという問題。
- ④ 自分の顔を普段から公に見せておくことから生じる問題。

問七 傍線部C「恋愛がいわば『アップデート』されていく可能性」とあるが、その具体的な内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

ちから一つ選べ。

- ① 綺麗な顔の持ち主がずっとマスクをし続けることで、逆恨みやストーキングの被害を受けずに済み、嫌な思いや危険な思いをせずに暮らすことができる可能性。
- ② 勝手に顔を見られるのではなく、自分が主体的に顔の見せ方を決めることができることで、顔の美醜が「恋愛オーディション」の審査項目に入らなくなる可能性。
- ③ 他者が審査員である「恋愛オーディション」への参加をしても、「職業や収入」と並んで「顔の美醜」も自分から堂々と審査項目の中に入れることができる可能性。
- ④ 相手にいづれくらい顔を見せるかを自分で決めることによって、事前に準備することができるため、いつも自分の最も良い顔を見せることができる可能性。

問八 次の①～④のうち、本文の内容に合致するものを一つ選べ。

- ① バーチャル・リアリティ技術などを駆使すれば、いくらでも顔の見せ方を変えることができるので、もはや顔の美醜を恋愛の際に考えることに重要性はあまりない。
- ② 顔に魅力のある人は好かれやすく、魅力のない人は好かれにくいというのは、道徳的な判断に先立つ生物としての反応なので、ルッキズムにはそれほど問題はない。
- ③ 恋愛において、相手の顔を見て恋愛対象となるかどうかを判断することと、相手の人間的な価値を判断することは別なので、前者を道徳的に良くないとは言えない。
- ④ コロナウイルス禍でマスクを常に着用したことがきっかけとなって、容姿至上主義の人や、顔の魅力度で恋愛対象となるかどうかを判断する人が減少したと思われる。

次の文章を読み、後の問いに答えよ。

著作権の関係上、非公表

著作権の関係上、非公表

*作問の都合上、本文を改変したところがある。

問一 空欄 (a) (c) にあてはまる語として最も適当なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- | | | | | |
|-----|--------|--------|-------|------|
| (a) | ① 要するに | ② たとえば | ③ むしろ | ④ でも |
| (b) | ① 要するに | ② たとえば | ③ むしろ | ④ でも |
| (c) | ① 要するに | ② たとえば | ③ むしろ | ④ でも |

問二 二重傍線部X「問答無用」のように、打消し語を用いた次のア～ウの四字熟語の空欄にあてはまる語を、次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| ア | 無為無 | ① 索 | ② 策 | ③ 錯 | ④ 作 |
| イ | 難 | ① 攻 | ② 行 | ③ 巧 | ④ 航 |
| ウ | 荒 | ① 倒 | ② 答 | ③ 唐 | ④ 闕 |

問三 波線部i～iiiの語の活用形として最も適当なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ア | ① 未然形 | ② 連用形 | ③ 終止形 | ④ 連体形 |
| イ | ① 未然形 | ② 連用形 | ③ 終止形 | ④ 連体形 |
| ウ | ① 未然形 | ② 連用形 | ③ 終止形 | ④ 連体形 |

問四 傍線部A『非対称的』だと特徴づけられています」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 国家とテロリストの戦争では、国家は「正義の執行」として武力を行使し、テロリストは純粋に「理想の実現」のために戦っているという。

② 今までの国家間戦争とは異なり、国家とテロリストとの戦争では、人数や武力に差があり、それに伴って戦術や方法も異なっているという。

③ グローバル化に反対するテロリストとグローバルな秩序を押し付けようとする国家との間で戦う、着地点が見つけられない戦争だということ。

④ テロリストは極悪非道で抹消すべき対象でしかないので、国家は手段を選ばずに、グローバルな秩序を維持するために戦ってよいということ。

問五 傍線部B「ある時からそれが基本的にできなくなりました」とあるが、それはなぜか。理由の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 核兵器を使うのは殺人と同じことであり、核兵器の使用が禁じられていなくても、人間であれば、それを使うことに迷いが出てくるものだから。

② 核兵器の使用は禁じられているわけではないので、保有国はいつでも使うことができるが、使用する際の心理的負担がそれを押しとどめるから。

③ 国家間の争いは、核兵器出現以降、実際に戦争をするよりは経済効率競争による代理戦争の方が利益が大きいと考えられるようになっていくから。

④ 核兵器は生き物を含めたすべてを一挙に破壊尽くすものなので、核兵器を使うと使った側の戦争の正当性がすべて失われてしまうことになるから。

問六 次の①～④のうち、本文の内容に合致するものを一つ選べ。

- ① テロリストと呼ばれる敵は、人間として向き合う必要もない極悪非道な存在なので、手段を問わずに戦うべき相手である。
- ② グローバル化時代の戦争は、国家とテロ集団の間で行われるが、最終的には国家による鎮圧によって終結するものである。
- ③ 核兵器を使用すべきでないことについては、多くの国や集団は、人間の持つ想像力によって理解していると考えられる。
- ④ 世界中で戦争が起きる可能性はあるが、核兵器の使用は基本的にはないと考えるのは、楽観的過ぎると懸念される。

次の文章を読み、後の問いに答えよ。

著作権の関係上、非公表

著作権の関係上、非公表

著作権の関係上、非公表

(きたやまおさむ『むなしさ』の味わい方)

*作問の都合上、本文を改変したところがある。

*鳥居玲：社会や人の内面に潜む暗部をテーマにした作風で知られた洋画家。

問一 二重傍線部X「柳田国男」について、次の文章中の空欄ア、ウにあてはまる語を次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

柳田国男は日本民俗学の創始者とされている人物であるが、『ア』の著者である森鷗外や、『田舎教師』を著したイ、『ウ』の著者である国木田独歩ら文学者とも交流があったことが知られている。

- ア ① 刺青 ② 行人 ③ 破戒 ④ 舞姫
 イ ① 谷崎潤一郎 ② 島崎藤村 ③ 田山花袋 ④ 永井荷風
 ウ ① 武蔵野 ② 田園の憂鬱 ③ 友情 ④ 羅生門

問二 本文中の空欄

ア

ウ

 に入れる語として適当なものを、次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- ア ① しかも ② ところが ③ あるいは ④ すなわち
 イ ① しかも ② ところが ③ あるいは ④ すなわち
 ウ ① しかも ② ところが ③ あるいは ④ すなわち

問三 波線部(a)～(c)の品詞を次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- (a)「確かに」 ① 助詞 ② 副詞 ③ 助動詞 ④ 形容動詞
 (b)「そもそも」 ① 助詞 ② 副詞 ③ 助動詞 ④ 形容動詞
 (c)「さえ」 ① 助詞 ② 副詞 ③ 助動詞 ④ 形容動詞

問四 傍線部A「ここである『相手の反応』というのは、生き生きした「面が白くなる」という現象とは質が違っています」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 相手が目の前にいても、スマホを通じてコミュニケーションをとる若い人たちも、実は生き生きとした本当の対話の楽しみを知りたいと思っているということ。
 ② 相手の反応に敏感すぎる時代を生きていると言われるが、実際のところは発信することに重きが置かれているのであり、他者の反応を期待してはいないこと。

- ③ SNS時代の現在、私たちは他者を意識しすぎる社会に生きているが、それは目の前の他者の表情の輝きではなく、視覚的な記号や数字

を求めているということ。

④ 現代は相手の反応に敏感すぎる時代であり、相手の生き生きとした反応に付き合っているのは「むなしさ」が募るので、無意識のうちに回避しているということ。

問五 傍線部B「いま私たちの生きている社会では、自分たちの外側に『ない』ものを探すことが難しくなっています」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① インターネットで探せば、自分の好みを先取りして商品を紹介してくれるシステムもあるが、もはや自分が欲しいものがわからなくなっているということ。

② 私たちの社会には意味のない言葉や情報だけでなく、実際の物も溢れており、それらが私たちの外側にあるはずの「間」を埋め尽くしているということ。

③ インターネット・ショップで探せば、どんな商品でも見つかるほど物が溢れているので、自分の好みに合った物を容易に見つけることができるということ。

④ 今の私たちの社会では、他者との関係にとって不可欠な感情である「むなしさ」を感じることができないため、人間関係を学ぶことが難しいということ。

問六 次の①～④のうち、本文の内容に合致するものを一つ選べ。

① 自分の意思が相手に必ず伝わるということはないのだが、私たちは伝わっていると思いたいので、SNSを活用してのコミュニケーションをとっている。

② 私たちは本来常に「間」に囲まれているはずだが、現代社会はみな多忙で人間関係も希薄なため、時間的にも空間的にも「間」が失われた社会だと言える。

③ 自分の内面と結びついた言葉を相手に伝えるのではなく、相手の反応を引き出すための刺激的な言葉ばかりが拡散されている現状こそ、

むなしいと言える。

④ SNSで「いいね！」をたくさんもらうのは、たしかに嬉しいはずだし充実しているように思われるが、それによるむなしさも同時に味わっているはずだ。